

揚水機場

白山甚兵衛（しろやまじんべえ）機場

整備内容(用水)

受益面積 983ha 最大取水量 3.30m³/s

用水ポンプ：口径900mm×2台

老朽化した白山機場と甚兵衛機場を統合し、白山甚兵衛機場を新設する。

現在の白山機場は、H21年に低揚程ポンプに油漏れが生じ復旧困難となっていることから、緊急性を考慮し優先して施工

白山機場(廃止)

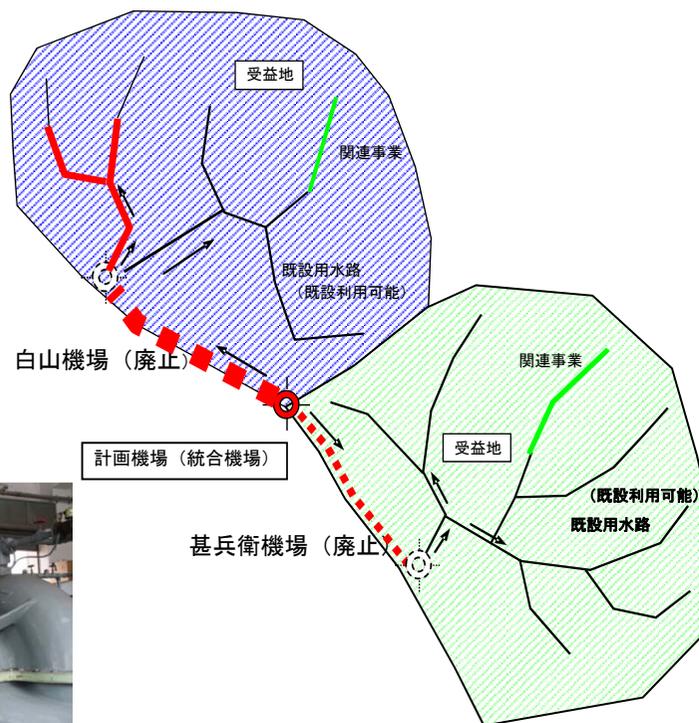


高揚程ポンプを改造し、低揚程分の水量を補っているが、水量が不足しているため、H22年度に新たに仮設の水中ポンプを設置して補給



高揚程のポンプを改造し、低揚程分の水量を補給

機場の統合イメージ



甚兵衛機場(廃止)



ひび割れ破損した羽根車